

滋賀県立農業大学校シラバス

講座名	6次産業化農業	担当	専門家	実務経験 有
-----	---------	----	-----	--------

科目の種別	専攻	対象学生	2年
学期	後期	時間数(単位数)	24時間(2単位)
授業形態(○記入)	講義 演習		

科目内容(教育研修計画より転記も可) 1 第6次産業化の意義 2 直売経営の特徴 3 農産加工の実際・製造現場 4 マーケティング(消費者ニーズの把握、ブランドとデザイン) 5 加工・直売上の注意事項(表示、生産管理工程等) 6 事例研修および講演

授業内容(4時間を1回分とした内容)	
第1回(4時間)	6次産業化の意義(先駆的農業経営=攻めの農業) ケースメソッド
第2回(4時間)	農産物流通とマーケティング(これからの農業経営) ケースメソッド
第3回(4時間)	加工品開発の実際(品質管理・衛生管理等) 先駆的経営者に学ぶ
第4回(4時間)	グループワーク(6次産業化事業計画の検討) プロセスの理解
第5回(4時間)	グループワーク(6次産業化事業計画の策定) 販売と生産のバランス
第6回(4時間)	事業計画の発表と診断(実現可能性・組織体制) おもてなしの精神

使用教科書(テキスト)書籍名、自作資料の内容を記入
自作資料: 「攻めの農業の推進者たれ!」「農産物流通とマーケティング」 「総合化事例から学ぶ」「農業経営の多角化」「総合化事業計画作成演習」 「アグリビジネスとおもてなし」

到達目標
座学・ケースメソッド・グループワーク(PBL手法)を通じて多様な考え方を修得し、事業計画演習によりマーケティングプロセスを理解することで、実際の農業経営に反映できる。

評価で重視する内容(テスト・レポート等の有無、その他(授業態度・出欠))
○記述テスト ○出欠状況 ○授業態度

評価基準
本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

